

中央労福協 2022全国福祉強化キャンペーン取組方針《ダイジェスト版》

2022年度においてもコロナ禍を通じて経験してきた“リモート”によるすそ野を広げる連帯と“対面”による深い連帯によって、人と人の新たな“つながり”のあり方を志向するとともに、若者をはじめ多くの新たな仲間をつなぐ新しい取り組みにチャレンジし、労福協の社会的意義を高めていく必要がある。



目的 「今こそ、労福協の力を。」を合言葉に、地域活動での実践を着実に進め、労働者自主福祉運動の社会的存在を高め“共助の輪”を地域に広げます。

強化期間：10月～11月

I. 重点活動【ミニマム行動(全国統一行動)・チャレンジ行動】

ハブ機能を発揮する“要”の取り組みに!



1. ミニマム行動 (全国統一行動)

- 生活応援運動の取り組みと防災・減災運動の取り組み
ろうきん、こくみん共済coopと連携し、研修会やセミナー等において組合員・生活者の制度利用の促進を図る。
- 奨学金に関する取り組み
奨学金ガイドブック「もう悩まないで。奨学金返済Q&A」を活用し、悩み解決の糸口とする。
- 自治体要請行動
「2022年度の中央労福協と地方労福協の要請・回答内容」「要求と提言(自治体要請参考版)」等を活用し、地方における重点政策の実現をめざす。

新たな取り組みへチャレンジをしよう!



2. チャレンジ行動

- 地域活動の実践
 - NPO 団体や地域組織等と連携し、地域活動の実践を促進する。
 - ろうふくエール基金を活用し、地域とのつながりを促進する。
- ポストコロナ社会を見据えた ICT の活用
地域における労福協活動に関する情報やニュースを発信するためにウェブサイトの充実を図るとともに、日常的に SNS を利用する世代や社会一般に情報を届けるよう、SNS 等を有効に活用する。
- 環境問題の取り組み
 - 「COOL CHOICE」等の取り組みを参考とした環境問題の取り組みを促進する。
 - 環境に対する問題意識の向上を図るための学習会を開催する。

II. 利用促進・共助拡大の取り組み

地域のネットワークを活用し、“つながる運動”を!



1. 労働団体への要請

地方段階においても加盟労働団体訪問を実施し、地域における労働団体の組織力・動員力の支援を求めながら活動の規模を広げる。

2. 事業団体との連携

加盟事業団体との連携や協同組合間協同の強化により、相互利用・共助拡大の促進をはかる。

III. 中央労福協と連携した取り組み

全国一体となったキャンペーン活動を展開しよう!



1. 加盟労働団体トップ訪問との連携

中央労福協が実施する加盟労働団体訪問の要請内容と連携し、地方においても産別組織ならびに単組支部等に対してキャンペーン要請を行う。

2. 中央労福協主催の研修会への参加

- LSC(ライフサポートセンター)実務者・相談員研修会(9月30日開催)
- 環境問題の取り組みをテーマとする学習会(9月28日開催)
- 奨学金相談をテーマとした学習会(10月12日開催予定)

3. 研修用教材の活用

- 各ブロック・組織において、若年層への教育研修を実施し、中央労福協のこれまでの活動や2030年ビジョンなどを盛り込んだ研修用教材(スライド版)を活用する。
- 労金協会「マネートラブル」1分動画素材、こくみん共済coop「労働者自主福祉運動」「新社会人のためのお金と保障」動画ツール等を活用し、研修会プログラムの充実を図る。